

SHURE®

It's Your Sound®

ULX ワイヤレスシステム 取扱説明書

技術基準適合証明品

はじめに

このたびは、SHURE ワイヤレスシステムをお買い上げいただき、ありがとうございます。本システムは、送信機と受信機から構成されています。この取扱説明書をよく読んで本システムを正しくお使いください。また取扱説明書は必要な時に利用できるよう、大切に保管してください。

保証について

保証書は必ず「お買い上げ日／販売店名」などの記入を確認して下さい。お買い上げ日より1年間は保証期間です。保証書記載事項に基づき、無償修理等を保証いたします。修理等はお買い上げの販売店かヒビノAVCセールスまでご依頼下さい。

改造など通常の使用範囲を超えた取り扱いによる、設計製造上以外の要因で起きた故障や不都合は、期間内であっても保証の対象外となります。また電池などの消耗品は保証の対象に含まれません。

アフターサービスについて

故障や異常が生じた場合は使用を中止し、お買い上げの販売店かヒビノAVCセールスまでご相談下さい。保証期間経過後でも、ご要望により有償にて修理を承ります。

修理を依頼されるときは、「製品名、品番、故障や異常の詳しい内容、購入年月日、住所、氏名、電話番号」をご連絡下さい。

使用上のご注意

免許手続きの必要性について

ULX1-JA/ULX2-JAワイヤレス送信機は電波法第4条・電波法施行規則第6条により、ご使用にあたって陸上移動局の免許手続きが必要です。付属の技術基準適合証明書は免許申請の際に必要なもので注意して下さい。(ULX1-JB/ULX2-JBワイヤレス送信機の場合は、免許手続きは不要です。)

送信機技術基準適合証明ラベルについて

ULX1-JA/JB ULX2-JA/JBは電波法で規定される技術基準適合証明品です。証明番号を記した証明ラベルが1台ずつ貼ってあります。表示の改変、除去は法律で禁じられていますので、みだりに剥がしたり、損傷することのないよう注意して下さい。

違法改造について

機器を分解したり、内部の部品に触れたりしないで下さい。改造等は法律で禁じられています。

設置および取り扱いについて

- ・照明用調光機、コンピュータなどのOA機器、大型モーター、デジタル・オーディオ機器や電子楽器、トランシーバ等の通信機器の近くでは雑音等の影響を受けることがあります。なるべく離して設置して下さい。
- ・振動する場所、直射日光の当たる場所、高温・多湿な場所、ほこりの多い場所等には設置しないで下さい。いずれもトラブルの原因となります。
- ・お手入れは柔らかい布で拭きして下さい。汚れのひどい場合には中性洗剤を使用して固く絞った布で拭いた後、から拭きして下さい。ベンジン、シンナー、アルコール等は変色や変形の原因になりますので使用しないで下さい。
- ・水に濡れた場合は、すぐに電源スイッチを切り、乾いた布で拭き取って下さい。
- ・長時間(2週間以上)使用しないときは、乾電池を取り出して下さい。



目 次	
ULX Wireless について	3
受信機 各部の名称と機能	4
ULXS4 スタンダード仕様	
ULXP4 プロフェッショナル仕様	
受信機のセットアップ	6
受信機のグループ設定の変更	7
受信機のチャンネル設定の変更	7
受信機のディスプレイコントラストの変更	7
送信機 各部の名称と機能	8
ULX1 ボディパック型	
ULX2 ハンドヘルド型	
送信機のセットアップ	10
送信機の周波数の設定	10
システムの操作	11
送信機ゲインの調整	11
送信機のロック機能	12
高度なプログラミング	13
受信機の設置	14
性能を最大限に発揮するために	15
電池寿命	15
仕様	16
トラブルシューティング	17
SHURE グループ/チャンネル一覧表	18
A 型ワイヤレスの使用について	19

ULX Wireless について

システムの概要

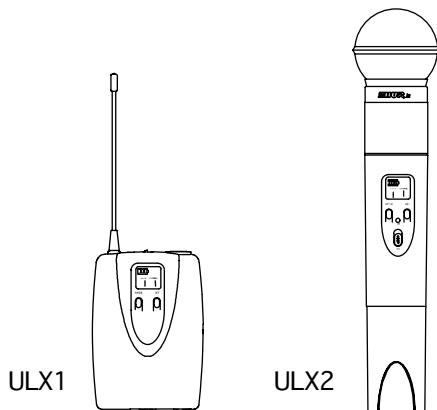
SHURE ULX Wirelessは、797MHz～806MHz(A型)及び806MHz～810MHz(B型)のUHF帯域を使用する、周波数可変のワイヤレスシステムです。2つのアンテナからの信号を合成して単一の信号を出力するSHURE独自のMARCAD(MAxiMum Ratio Combining Audio Diversity)回路を採用。ドロップアウトが極めて少なく、優れた受信性能を発揮します。

※SHUREのUC WirelessやUHF Wireless、Performance Gear Wireless、他社製ワイヤレスシステムの送信機や受信機をULX Wirelessと組み合わせて使うことはできません。

ULX Wireless の構成

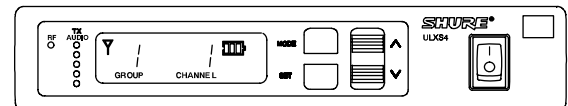
ULX Wirelessは、以下の機器から構成されています。

送信機

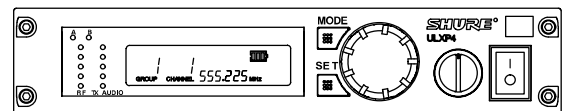


受信機

ULXS4



ULXP4



① ULX1 ボディパック型送信機

ラベリアマイクロホン、ヘッドウォーンマイクロホン、楽器用マイクロホン、アダプタケーブルのいずれかと接続して使用します。(ラベリアマイクロホン、楽器用ケーブル、ヘッドウォーンマイクロホンは別売です)

② ULX2 ハンドヘルド型送信機

以下のマイクヘッドを組み合わせたモデルを選択できます。マイクヘッドは交換可能です。

- ・SM58..... カーディオイド、ダイナミック型
- ・SM87A スーパーカーディオイド、コンデンサ型
- ・BETA 58A スーパーカーディオイド、ダイナミック型
- ・BETA 87A スーパーカーディオイド、コンデンサ型
- ・BETA 87C カーディオイド、コンデンサ型
- ・SM86 スーパーカーディオイド、コンデンサ型

③ ULXS4 スタンダード仕様受信機

ダイバーシティ受信機。A型/B型両方に対応します。

④ ULXP4 プロフェッショナル仕様受信機

ダイバーシティ受信機。A型/B型両方に対応します。ラックマウント用金具付き。

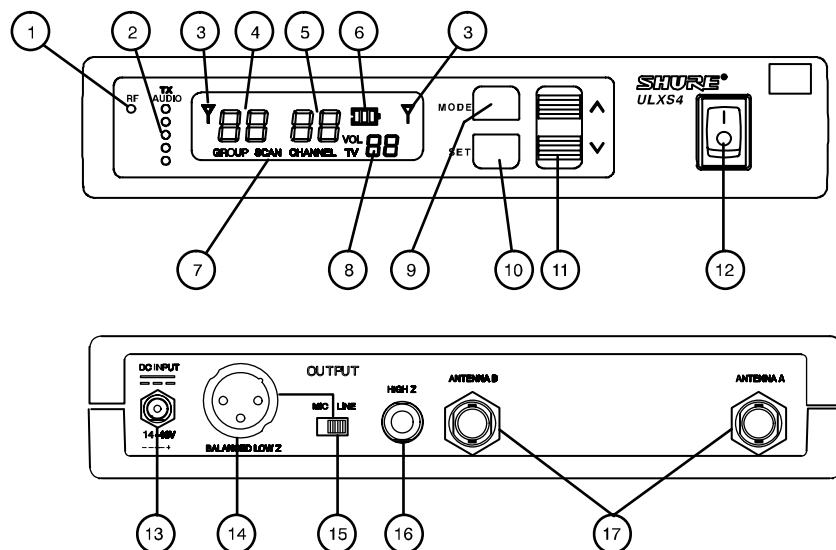
⑤ ULXP4D プロフェッショナル仕様受信機

ULXP4の2個セット。ラックマウント用金具および連結金具付き。

ULX Wirelessでは、これらの機器を必要に応じて組み合わせて使用します。オプションで、ボディパック型送信機用のリモート・ミュートスイッチや、アンテナ分配機、アクティブ・リモート・アンテナキットも用意しています。

受信機 各部の名称と機能

ULXS4 スタンダード仕様



フロントパネル

1 RF インジケータ

RF（無線周波数）信号の有無を表示します。RF 信号があるときは、緑に点灯します。

2 TX AUDIO レベルインジケータ

送信された（TX）音声信号の強度を表示します。緑色は通常のレベル、黄色はオーバーロード・レベルに近いことを、赤は音声レベルが大きすぎることを示します。

3 受信アンテナアイコン

ディスプレイの右側または左側に表示されます。RF 信号をより強く受信しているアンテナ側に現れます。

4 GROUP ディスプレイ

選択した周波数のグループ番号を示します。

5 CHANNEL ディスプレイ

グループ内のチャンネル番号を示します。

6 送信機の電池残量インジケータ

送信機の電池残量を示します。送信機の電源が入っているときに表示されます。

7 SCAN インジケータ

利用できるチャンネルのスキャン中に表示されます。

8 出力レベルディスプレイ

出力レベルを表示します。

9 MODE ボタン

グループやチャンネルなどのメニューを変更するときに使用します。

10 SET ボタン

変更した設定を保存します。

11 \wedge/\vee ボタン

出力レベルやグループ、チャンネルなどの数値を増減させます。

12 ON/OFF スイッチ

電源の ON/OFF を切り替えます。

リアパネル

13 AC 電源入力コネクタ

付属の AC アダプタまたは 14~18VDC (550mA 以上) の電源を接続します。SHURE UA845 アンテナ分配機の DC 電源出力も接続できます。

14 ローインピーダンス・バランス出力コネクタ

ローインピーダンスのマイクレベルまたはラインレベルを出力する XLR コネクタ。

15 MIC/LINE 出力切替スイッチ

ローインピーダンス・バランス出力コネクタの出力レベルをマイク (-27dBV) またはライン (+4.3dBV) レベルに切り替えます。

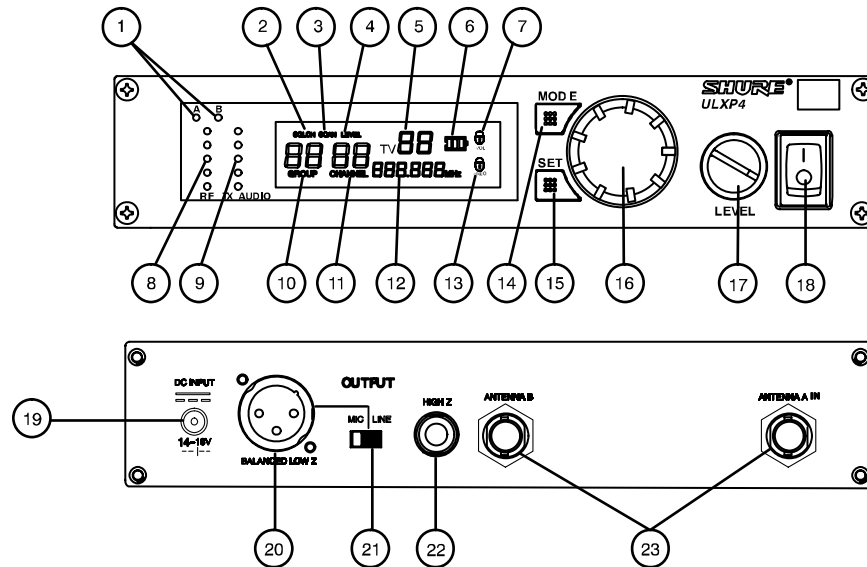
16 ハイインピーダンス・アンバランス出力コネクタ

ハイインピーダンスの AUX レベルを出力するフォーンジャックです。

17 アンテナ入力コネクタ

BNC タイプのコネクタで、付属のアンテナやアンテナ分配機またはリモートアンテナに使用している同軸ケーブルが接続できます。

ULXP4 プロフェッショナル仕様



フロントパネル

- 1 受信アンテナインジケータ
より強いRF信号を受信しているアンテナ側に緑のLEDが点灯します。
- 2 SQUELCH インジケータ
スケルチ設定の調整をするときに表示されます。
- 3 SCAN インジケータ
利用できるグループやチャンネルのスカン中に表示されます。
- 4 出力レベル警告インジケータ
ロックを解除したときに、出力レベルコントロールつまみがロックしたときの位置と一致していない時に現れます。
- 5 TVチャンネルディスプレイ
日本仕様では機能しません。
- 6 送信機の電池残量インジケータ
送信機の電池残量を示します。送信機の電源を入れたときに表示されます。
- 7 出力レベルロックアイコン
出力レベルの設定をロックしているときに表示されます。
- 8 RF レベルインジケータ
受信したRF信号の強度を表示します。
- 9 TX AUDIO レベルインジケータ
送信された (TX) 音声信号の強度を表示します。緑色は通常のレベル、黄色はオーバーロード・レベルに近いことを、赤は音声レベルが大きすぎることを示します。
- 10 グループ (GROUP) ディスプレイ
選択した周波数のグループ番号を示します。
- 11 チャンネル (CHANNEL) ディスプレイ
グループ内のチャンネル番号を表示します。
- 12 周波数 (FREQUENCY) ディスプレイ
現在の周波数を MHz で示します。
- 13 グループ/チャンネルロックアイコン
グループ/チャンネルがロックされているときに表示されます。

- 14 MODE ボタン
グループやチャンネルなどのメニューを変更するときに使用します。
- 15 SET ボタン
変更した設定を保存したり、スケルチ設定やロックを設定・解除するときに使用します。
- 16 ディスプレイコントローラー
グループ/チャンネルのスカンや、スケルチ設定の変更など、ディスプレイ上の数値の変更や設定を行うときに使用します。
- 17 出力レベルコントロールつまみ
受信機の音声出力レベルを調整し、ミキサーまたはアンプの必要入力レベルに合わせます。通常このコントロールは時計方向に回しきった位置にセットしておきます。
- 18 ON/OFF スイッチ
電源の ON/OFF を切り替えます。

リアパネル

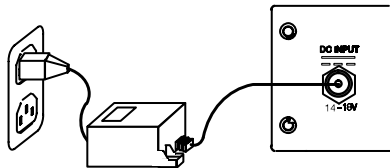
- 19 AC電源入力コネクタ
付属のACアダプタまたは14~18VDC (550mA以上) の電源を接続します。SHURE UA845 アンテナ分配機のDC電源出力も接続できます。
- 20 ローインピーダンス・バランス出力コネクタ
ローインピーダンスのマイクレベルまたはラインレベルを出力する3ピンXLRコネクタ。
- 21 MIC/LINE 出力レベル切替スイッチ
ローインピーダンス・バランス出力コネクタの出力レベルをマイク (-27dBV) またはライン (+4.3dBV) レベルに切り替えます。
- 22 ハイインピーダンス・アンバランス出力コネクタ
ハイインピーダンスのAUXレベルを出力するフォーンジャックです。
- 23 アンテナ入力コネクタ
BNCタイプのコネクタで、付属のアンテナやアンテナ分配機またはリモートアンテナに使用している同軸ケーブルが接続できます。

受信機のセットアップ

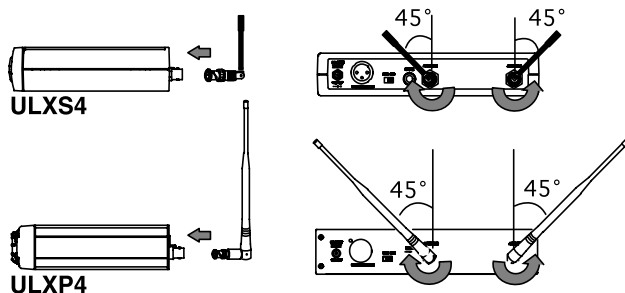
※他のワイヤレスシステムは使用されていないと仮定します。

接続

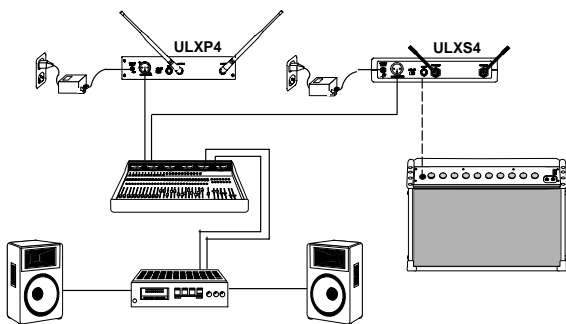
- 1 電源ケーブルを受信機のリアパネルにあるAC電源入力コネクタに接続し、反対側を電源に差し込みます。



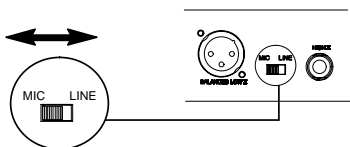
- 2 付属の2本のアンテナ(ULXS4は1/4波長アンテナ、ULXP4は1/2波長アンテナ)をリアパネルのアンテナ入力コネクタに取り付けます。最高の受信感度を得るために、2本のアンテナをお互いに反対方向に向けて、垂直に対し45°傾けて設置してください。



- 3 受信機出力端子とご使用のオーディオシステムまたはミキサ、アンプの入力端子を音声ケーブルで接続します。受信機側には、3ピンメス型コネクタまたはフォンプラグを使用します。(音声ケーブルは付属していません。)



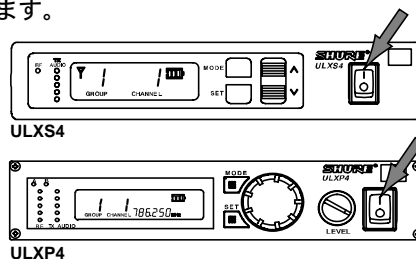
- 4 受信機のローインピーダンス・バランス出力コネクタを使用している場合は、ミキサーまたはアンプの入力に一致するようにMIC/LINEスイッチの設定をしてください。MIC/LINEスイッチはハイインピーダンス・アンバランス出力コネクタには影響を及ぼしません。



電源を入れる

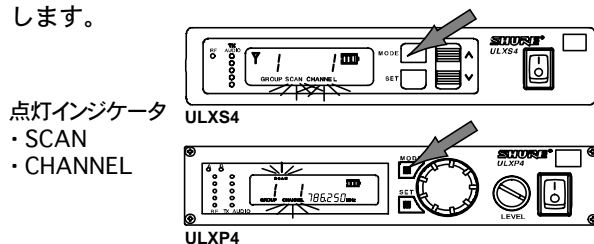
※受信機の電源を入れるまえに送信機の電源を入れなください。送信機の電源を先に入れると、受信機のスキャン機能を妨害することになります。

ON/OFFスイッチをONにして受信機に電源を入れます。初期画面のGROUP1,CHANNEL1が受信機のディスプレイに表示されます。

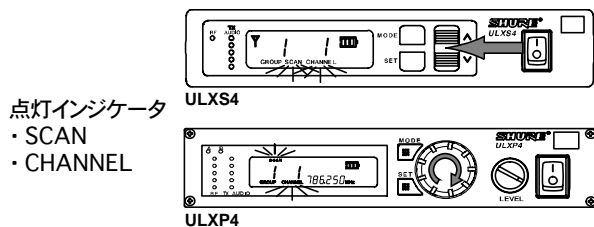


利用できるチャンネルのスキャン

- 1 受信機のMODEボタンを1回押します。SCANインジケータとCHANNELインジケータがディスプレイに点灯します。

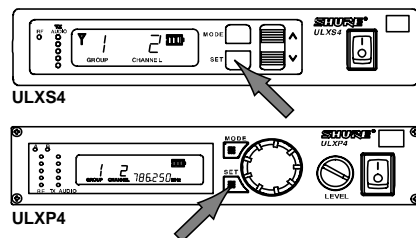


- 2 ULXS4では∧/∨ボタンを押し、ULXP4ではディスプレイコントローラーを時計回りに1/4回転ほど回すとスキャンが始まり、終了すると利用できるチャンネルの番号が、ディスプレイに表示されます。



※「NO」が表示される場合、現在のグループ内で利用できるチャンネルはありません。p.7に従ってグループを変更してください。グループを変更して、上記ステップ1と2を繰り返します。

- 3 SETボタンを押して、チャンネルを設定します。

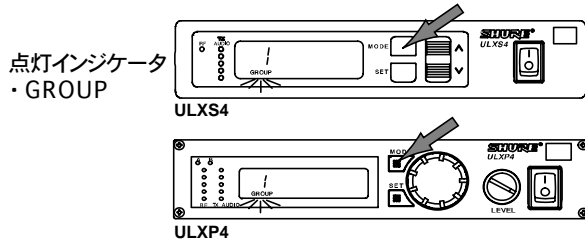


これで受信機の準備ができました。受信機を他の場所に移動させない限り、この手順を繰り返す必要はありません。送信機の基本セットアップのセクションに進んでください。

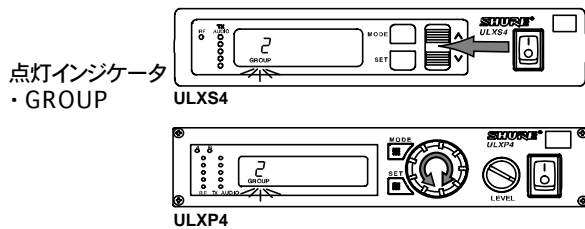
※ULXP4を使用している場合は、「高度なプログラミング」のセクション(p.13)も参照してください。

受信機のグループ設定の変更

- 1 MODE ボタンを2回押します。GROUPの文字がディスプレイに表示されます。



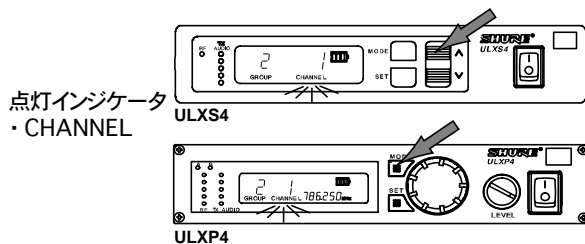
- 2 ULXS4の場合は ^/∇ボタンを押し、ULXP4の場合はディスプレイコントローラーを回します。利用できるグループ番号がディスプレイに表示されます。



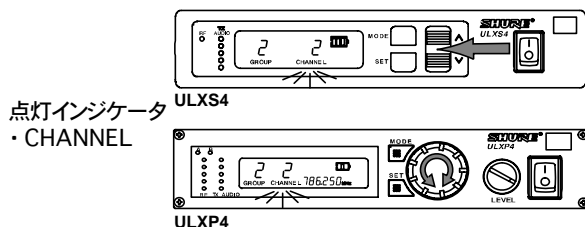
- 3 SET ボタンを押して新しいグループの設定を保存します。CHANNEL ディスプレイには新しいグループ内で利用できる最初のチャンネルが表示されていますので、SET ボタンをもう1度押して保存します。初期画面に戻り、変更後の設定が表示されます。

受信機のチャンネル設定の変更

- 1 MODE ボタンを3回押します。CHANNEL インジケータがディスプレイに点灯します。



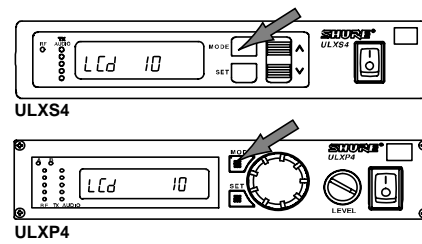
- 2 ULXS4では ^/∇ボタンを押し、ULXP4ではディスプレイコントローラーを回します。新しいチャンネル番号がディスプレイに表示されます。



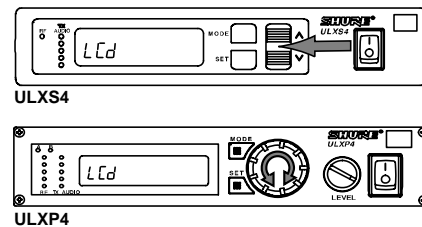
- 3 SET ボタンを押し、変更したチャンネルを保存します。

受信機のディスプレイコントラストの調整

- 1 MODE ボタンを2秒間押します。「LCd」がディスプレイに表示されます。



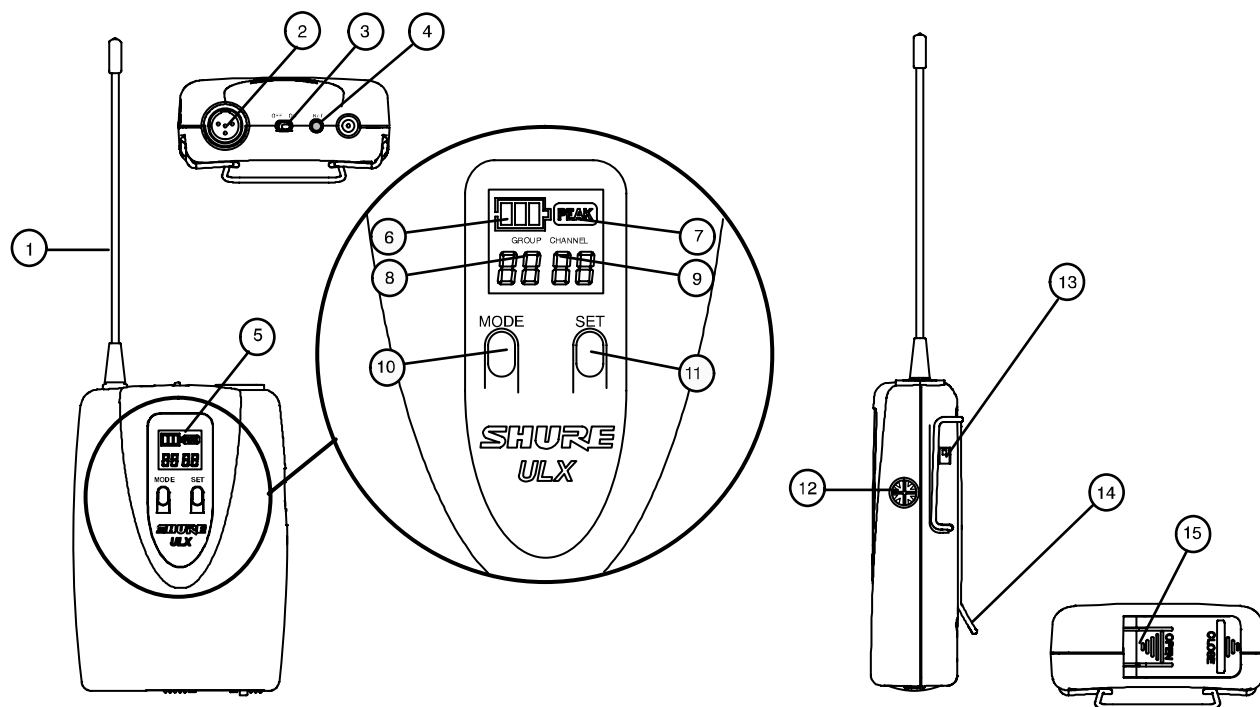
- 2 ULXS4は ^/∇ボタンを押し、ULXP4ではディスプレイコントローラーを回してディスプレイコントラストの明暗の調整をします。



- 3 SET ボタンを押して変更したディスプレイコントラストの設定を保存します。ディスプレイは初期画面に戻ります。ディスプレイコントラストの設定を変更せずに初期設定に戻るには、MODE ボタンを押します。

送信機 各部の名称と機能

ULX1 ボディパック型



1 アンテナ

1/4 波長のホイップ・アンテナを装備しています。

2 入力コネクタ

TA4Mコネクタ。ラベリアマイクロホン、ヘッドウォーンマイクロホンのケーブルやSHURE WA302 楽器用ケーブルとの接続に使用します。

3 ON/OFF スイッチ

送信機の ON/OFF を切り替えます。

4 電源 LED

ON/OFF スイッチが ON の時に LED が緑に点灯します。電池残量が少なくなると赤に変わり、電池の交換を警告します。

5 ディスプレイ

グループとチャンネル、電池残量、PEAK アイコンを表示します。

6 電池残量インジケータ

電池残量を示します。

7 PEAK アイコン

過大な音声信号が送信機に入ってきたときに表示されます。アイコンは過大入力を検知した後、約 2 秒間表示されます。

8 GROUP ディスプレイ

送信機の周波数のグループ番号を示します。

9 CHANNEL ディスプレイ

グループ内のチャンネル番号を示します。

10 MODE ボタン

グループやチャンネルのメニュー変更や設定の保存をします。

11 SET ボタン

グループまたはチャンネルなどの数値を変更したり、設定のロックや解除のときに使用します。

12 ゲイン・コントロール

スピーチ、歌、楽器演奏などの音源に合わせてオーディオ・レベルを調整します。「ゲインの調整」(p.11) を参照してください。

13 入力レベル・アッテネータ・スイッチ

0dB と -20dB の 2 ポジションの入力レベル・アッテネータ・スイッチを装備しており、使用条件に応じて適切なポジションに設定します。

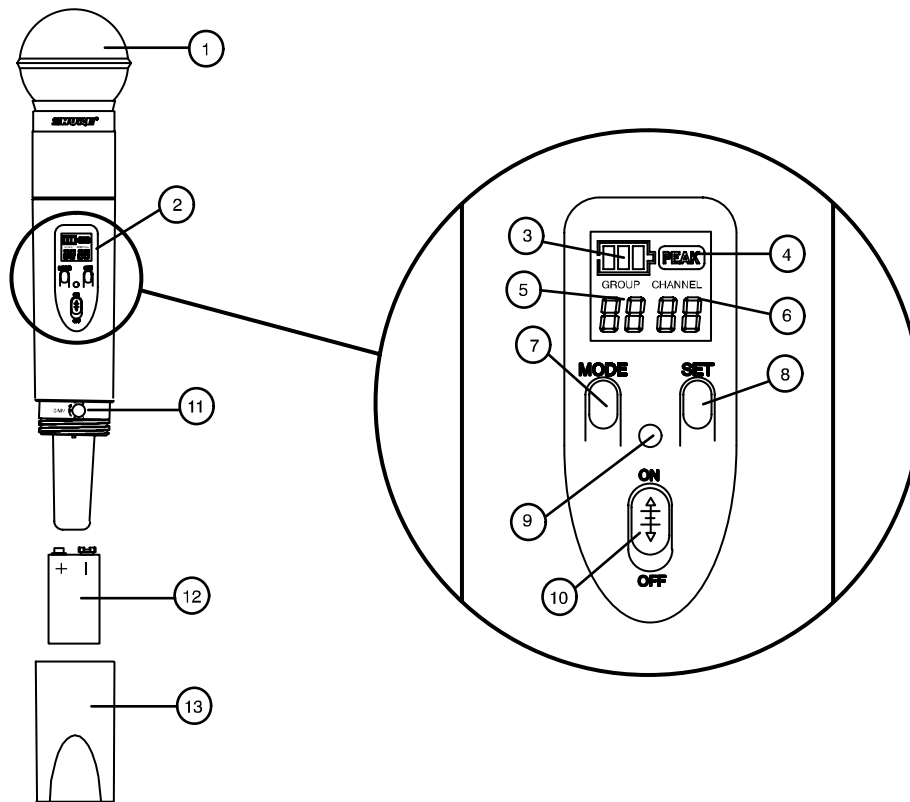
14 ベルトクリップ

ベルトまたはウエストバンド、ギターストラップに送信機を取り付けます。

15 電池カバー

ヒンジ式カバーを開けて、006P 形アルカリ乾電池を挿入します。

ULX2 ハンドヘルド型



1 グリル

マイクロホンのカートリッジを保護し、プレスノイズやウィンドノイズを低減させます。グリルの形状はマイクロホンによって異なります。

2 ディスプレイ

グループとチャンネル、電池残量、PEAKアイコンを表示します。

3 電池残量インジケータ

電池残量を示します。

4 PEAK アイコン

過大な音声信号が送信機に入ってきたときに表示されます。アイコンは過大入力を検知した後、約2秒間表示されます。

5 GROUP ディスプレイ

送信機の周波数のグループ番号を示します。

6 CHANNEL ディスプレイ

グループ内のチャンネル番号を示します。

7 MODE ボタン

グループやチャンネルのメニュー変更や設定の保存をします。

8 SET ボタン

グループまたはチャンネルなどの数値を変更したり、設定のロックや解除のときに使用します。

9 電源 LED

ON/OFFスイッチがONの時にLEDが緑に点灯します。電池残量が少なくなると赤に変わり、電池の交換を警告します。

10 ON/OFF スイッチ

送信機のON/OFFを切り替えます。

11 ゲイン・コントロール

スピーチ、歌、楽器演奏などの音源に合わせてオーディオレベルを調整します。「ゲインの調整」(p.11)を参照してください。

12 006P形アルカリ乾電池

送信機とマイクロホンに電力を供給します。

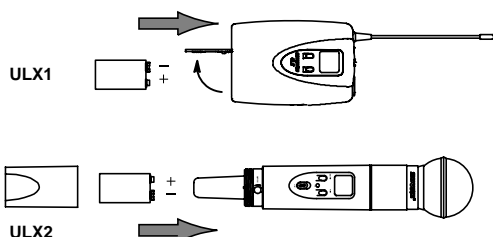
13 電池カバー

乾電池とゲイン・コントロールのカバーです。半時計方向に回して開けます。

送信機のセットアップ

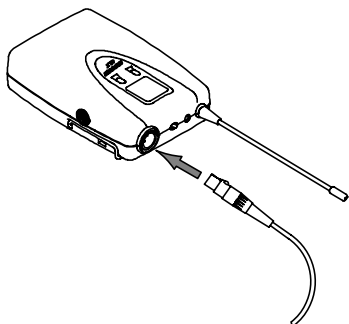
電池の挿入

- 1 送信機の ON/OFF スイッチを OFF にします。
- 2 電池カバーを開けて、新しい006P形アルカリ乾電池を挿入します。+と-の向きを確認してください。
- 3 電池カバーを閉じます。



ULX1 の基本セットアップ

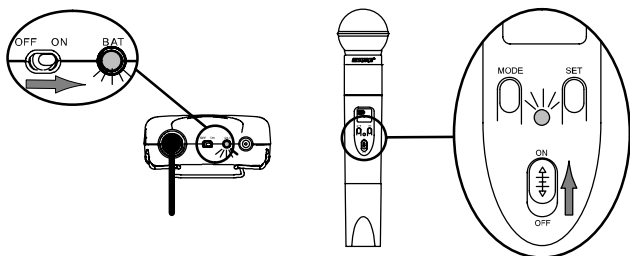
ULX1 ボディパック型送信機と SHURE ラベリアマイクロホンまたは楽器用アダプタを一緒に使用する場合は、マイクロホンケーブルまたは楽器用ケーブルを送信機の入力コネクタに差し込みます。



電源を入れる

※受信機の電源を入れるまえに送信機の電源を入れなくてください。送信機の電源を先に入れると、受信機のスキャン機能を妨害することになります。

受信機が利用できるグループとチャンネルを確認したら、送信機の ON/OFF スイッチを ON の方へスライドさせて電源を入れます。送信機の電源 LED が一瞬赤に点灯し、緑に変わります。ディスプレイに初期設定の周波数 (CHANNEL1, GROUP1) が現れます。



電池残量のチェック

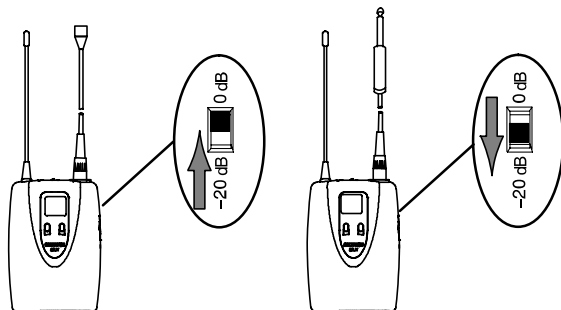
ディスプレイの電池残量インジケータのアイコンを確認してください。下図に示すようにおよその電池残量を示します。電池がなくなると音が消えます。また、送・受信機の電池残量インジケータも表示されません。新しい電池に交換してください。



※記載の電池寿命はデュラセル9Vアルカリ乾電池に基づいています。電池の種類については「電池寿命」の項 (p.15) または、SHURE の WEB サイト <http://www.shure.com> の FAQ を参照してください。

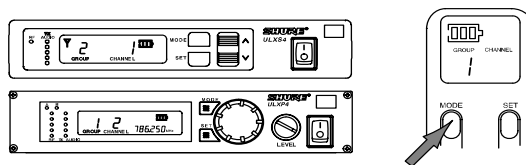
ULX1 のアッテネータ設定

ラベリアマイクロホンやヘッドウォーンマイクロホン、出力の低い楽器を使用している場合は、アッテネータスイッチを 0dB にします。エレクトリックギターなど極めて高い出力を持つ楽器を使用している場合は、アッテネータスイッチをスライドさせて -20dB の位置にします。

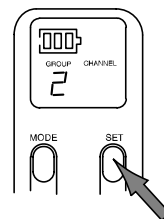


送信機の周波数の設定

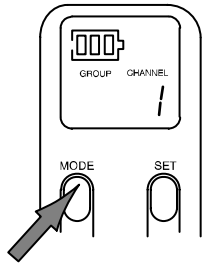
- 1 受信機で設定したグループとチャンネル番号をメモします。送信機の MODE ボタンを数秒間押したままにして、グループ番号だけを送信機のディスプレイに表示させます。



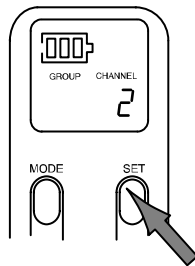
- 2 送信機の SET ボタンを押し、グループ番号を進めて送信機と同一の番号をディスプレイに表示させます。



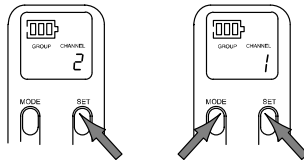
- 3 送信機の MODE ボタンを押し、変更したグループ番号を保存します。ディスプレイはグループ番号が消え、チャンネル番号だけが表示されます。



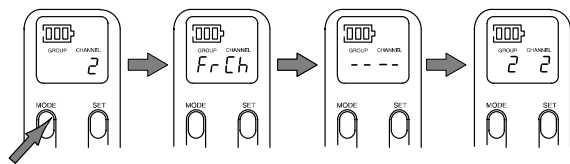
- 4 SET ボタンを押し、希望のチャンネル番号になるまで進めます。



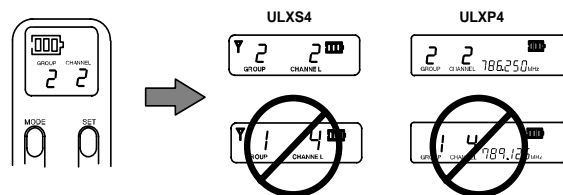
※グループまたはチャンネルの検索方向を逆にするには、SET ボタンを押したままで MODE ボタンを押します。



- 5 MODE ボタンを押して変更したチャンネル番号を保存します。「FrCh」が瞬時的に表示され、設定が変更されたことを示します。初期画面に戻り、変更したグループとチャンネル番号が表示されます。



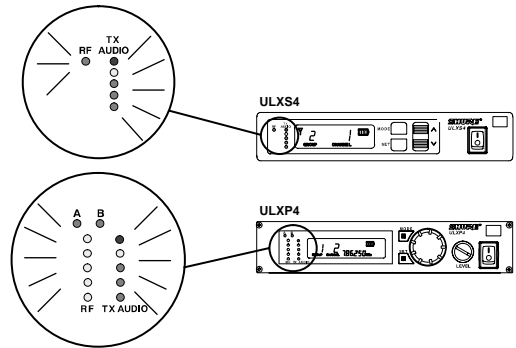
- 6 送信機と受信機のグループおよびチャンネル番号が互いに一致していることを確認します。ボディパック型送信機を使用している場合は、ベルトやウェストバンド、ギターストラップに止めてください。



これで送信機の準備ができました。複数のシステムを設置する場合は、送信機を ON にしたままで「受信機のセットアップ」(p.6)に戻り、各システムで設定手順を繰り返します。
※送信機のロック機能については、p.12を参照してください。

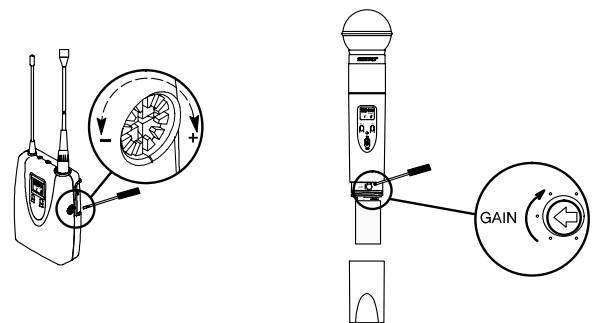
システムの操作

音声システムを適切にセットして、マイクテストを行ったり楽器を演奏します。受信機の LED が点灯し、音声や楽器の音がスピーカから聞こえます。大きな声で話したり大きな音で楽器を弾いたりしたときに限り、TX AUDIO インジケータの上部が瞬時的に赤く点灯するようにします。



送信機ゲインの調整

マイクテストを行ったり楽器を弾いてみて、受信機の TX AUDIO インジケータが常に赤く点灯する場合や、全く点灯しない場合は、送信機のゲイン調整を行ってください。TX AUDIO インジケータの緑と黄色の音声LEDだけが点灯するまで付属のねじ回しで調整します。赤のLEDは、大声で話したり、音量を上げて楽器を弾いたりしたときに限り点灯するようにします。

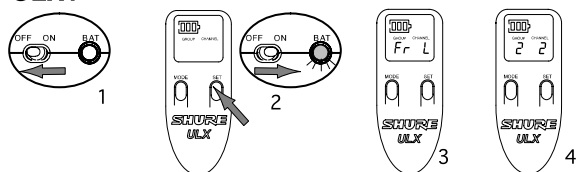


送信機のロック機能

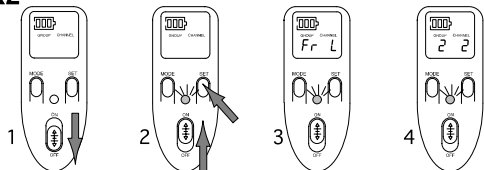
グループ/チャンネル設定のロック

- 1 送信機の ON/OFF スイッチを OFF にして、ディスプレイのライトが消えるまで待ちます。
- 2 SET ボタンを押したまま、ON/OFF スイッチを ON の位置に戻します。
- 3 「FrL」が送信機のディスプレイに表示され、グループ/チャンネル設定がロックされたことを示します。
- 4 初期画面に戻り、ロックされたグループ/チャンネルが表示されます。

ULX1



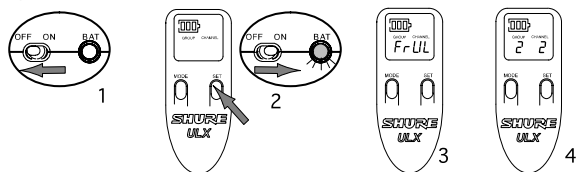
ULX2



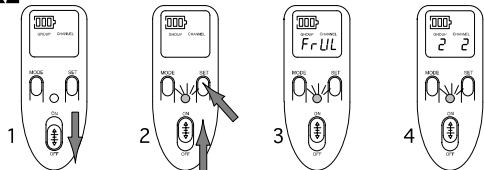
グループ/チャンネル設定のロック解除

- 1 送信機の ON/OFF スイッチを OFF にして、ディスプレイのライトが消えるまで待ちます。
- 2 SET ボタンを押したまま、ON/OFF スイッチを ON の位置に戻します。
- 3 「FrUL」が送信機ディスプレイに表示され、グループ/チャンネル設定のロックが解除されたことを示します。
- 4 初期画面に戻り、現在の周波数グループおよびチャンネルが表示されます。

ULX1



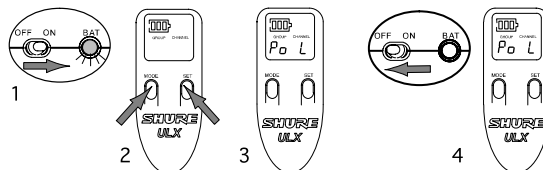
ULX2



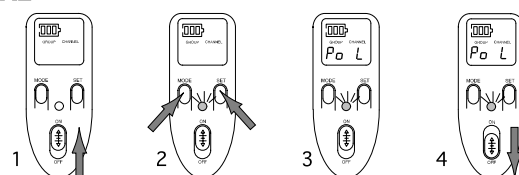
ON/OFF スイッチのロック

- 1 送信機の ON/OFF スイッチを ON にします。
- 2 送信機の SET ボタンと MODE ボタンを押したままにしておきます。
- 3 ディスプレイに「PoL」が表われ、ON/OFF スイッチがロックされたことを示します。
- 4 送信機は、ON/OFF スイッチを OFF の位置に動かしてもディスプレイに「PoL」が表われて、ロックがかかっていることを示します。

ULX1



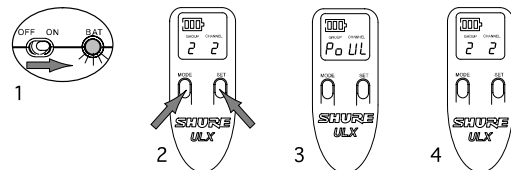
ULX2



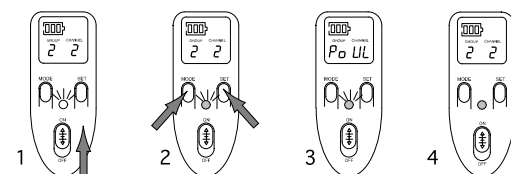
ON/OFF スイッチのロック解除

- 1 送信機の ON/OFF スイッチを ON にします。
- 2 送信機の SET ボタンと MODE ボタンを押したままにしておきます。
- 3 ディスプレイに「PoUL」が表示され、ON/OFF スイッチのロックが解除されたことを示します。
- 4 初期画面に戻ります。

ULX1



ULX2

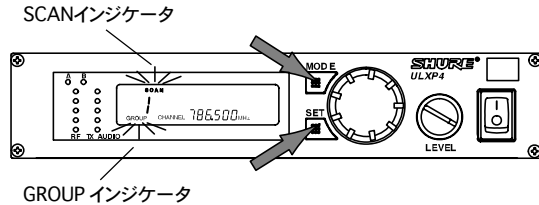


高度なプログラミング

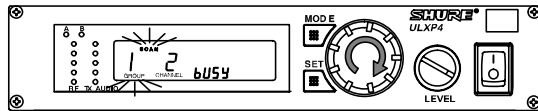
※ ULXP4とULXP4Dのみに備わっている機能です。

グループ/チャンネルのスキャン

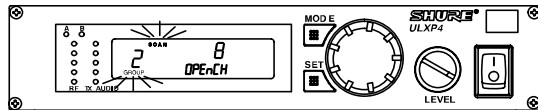
- 1 SET ボタンを押したままでMODE ボタンを1回押します。GROUP インジケータとSCAN インジケータがディスプレイに点滅します。



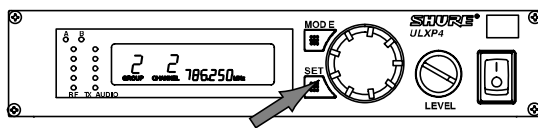
- 2 ディスプレイコントローラーを時計回りに1/4ほど回し、スキャンを開始します。受信機は自動的に全グループのチャンネルをスキャンします。スキャンには2分程度かかり、ディスプレイに「bUSY」と表示されます。



- 3 全グループのスキャンが済むと、利用できるチャンネルが最も多いグループをディスプレイに表示します。



- 4 SET ボタンを押して受信機を新しいグループに変更します。このグループ内で利用できるチャンネルが自動的に選択され、ディスプレイに表示されます。他のグループを使用する場合は、ディスプレイコントローラーを右に回して、スキャンされたグループのリストをスクロールして選択します。



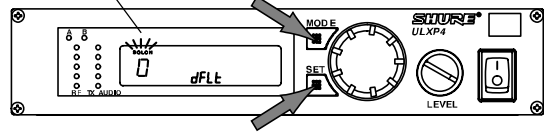
スケルチ設定の調整

受信機のスケルチコントロールは最適な性能を発揮するよう工場出荷時にプリセットされています。通常、これ以上の調整は必要ありませんが、スケルチコントロールを調整して信号品質を向上させたり、通信範囲を拡張させたりすることができます。

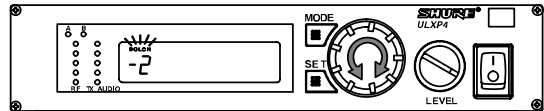
※スケルチレベルを増加すると、受信機は高品質の信号(ミュート前のノイズが少ない)を要求することになりますが、通信範囲は狭くなります。スケルチレベルを減少すると、品質の低い信号(ミュートの前のノイズが多い)を受信しますが、通信範囲は拡張されます。

- 1 受信機のSET ボタンを押したままでMODE ボタンを2回押します。「SQLCH」がディスプレイに点滅します。

SQUELCHインジケータ



- 2 ディスプレイコントローラーを回し、希望の数値をディスプレイに表示します。

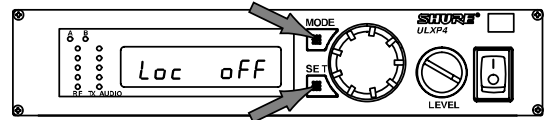


- 3 SET ボタンを押して、新しいスケルチ値を保存します。

出力レベルとグループ/チャンネルのロック

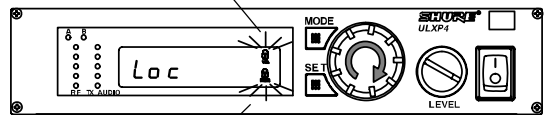
ULXP4受信機の出力レベルとグループ/チャンネルをロックして、設定の無断変更や誤った変更を防止することができます。

- 1 受信機のSET ボタンを押したままでMODE ボタンを3回押します。「Loc」がディスプレイに表示されます。



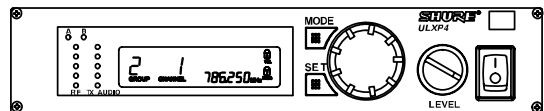
- 2 ディスプレイコントローラーを回し、ロックしたい機能のアイコンをディスプレイに表示させます。出力レベルのロックをするときは、出力レベルロックアイコン(VOL)、グループ/チャンネルのロックをするときはグループ/チャンネルロックアイコン(FREQ)を点滅させます。1つまたは両方のロックアイコンを表示できます。

出力レベルロックアイコン (VOL)



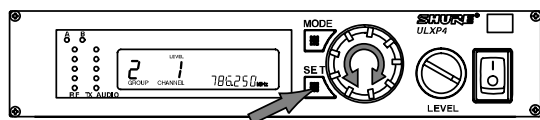
グループ/チャンネルロックアイコン (FREQ)

- 3 SET ボタンを押して、ロックをかけます。



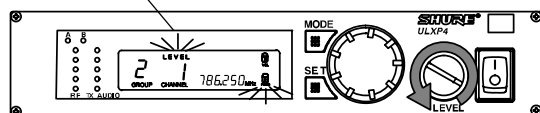
出力レベルとグループ/チャンネルのロック解除

ULXP4受信機のグループ/チャンネルおよび出力レベル設定のロックを解除するには、SET ボタンを押したままでディスプレイコントローラーを左・右・左と1/4ずつ回します。ロックアイコンの表示が消え、受信機のロックが解除されます。



※出力レベルのロックを解除したときに、出力レベルコントロールつまみがロックしたときよりも高いレベルに設定されていると、ロックされたときのレベルで出力されます。出力レベル警告インジケータが受信機のディスプレイに表示されているので、消えるところまで出力レベルコントロールつまみを反時計回りに回して、ロックを完全に解除してください。

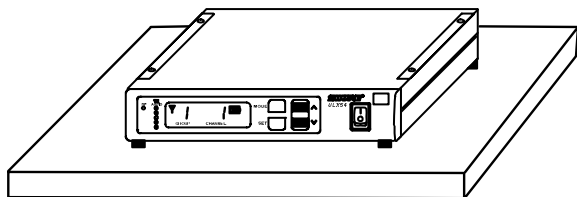
出力レベル警告インジケータ



受信機の設置

ULXS4 スタンダード仕様

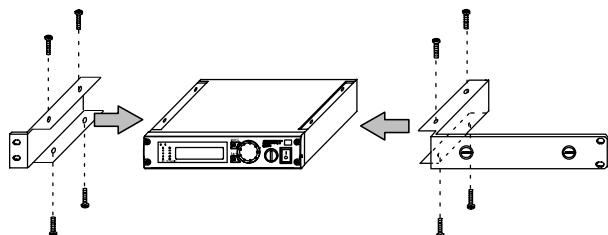
受信機底面にある4コーナーのくぼみに付属のゴム足を1つずつ貼り付け、受信機を接地面に置きます。テーブルなど水平な面に設置してください。



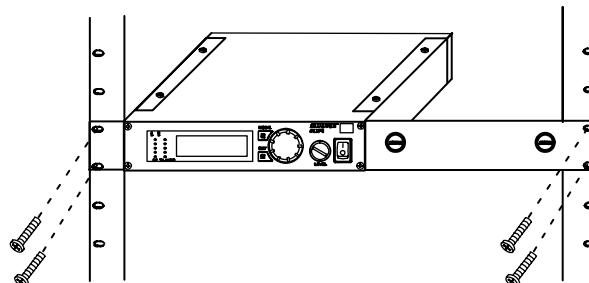
※ULXS4は、アクセサリーのラックマウントキットを使用してラックマウントもできます。

ULXP4 プロフェッショナル仕様

1 付属のラックマウント金具のネジ穴を受信機のネジ穴に合わせます。
2 付属のネジ8本を使用して、金具を受信機に固定します。
※ネジは締めすぎないようにしてください。プリント基板が破損する可能性があります。

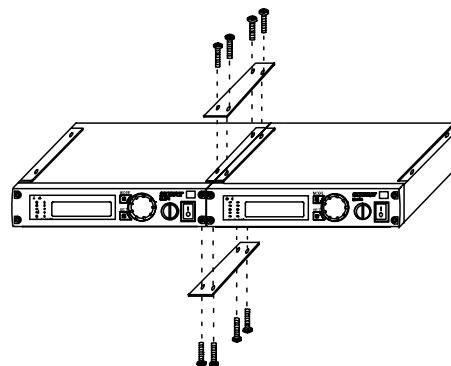


- 3 受信機を 19 インチの音声機器ラックにスライドさせます。
- 4 付属のネジ 4 本を使用してラックマウント金具をラックに固定します。
- 5 アンテナをフロントマウントしない場合は、プラスチック製プラグを金具の穴に挿入してください。

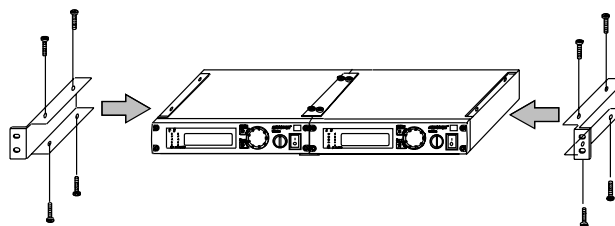


ULXP4D ULXP4 の 2 個セット

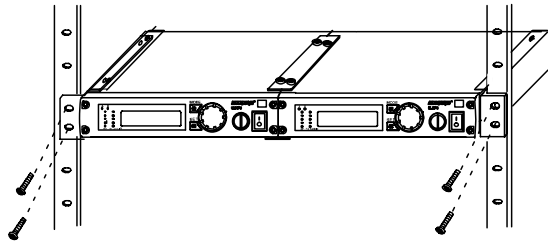
- 1 同じ方向に受信機を左右に並べておきます。
- 2 付属の連結金具を受信機間の上下のくぼみに置き、金具が両方の受信機に重なるようにします。
- 3 付属のネジを使用して連結金具を受信機に固定します。
※ネジは締めすぎないようにしてください。プリント基板が破損する可能性があります。



- 4 ラックマウント金具を受信機の両側の穴に合わせます。
- 5 付属のネジで金具を受信機に固定します。



- 6 連結させた受信機を19インチの音声機器ラックにスライドさせます。
- 7 付属のネジ4本を全部使用して金具をラックに固定します。



性能を最大限に発揮するために

- ・送信機と受信機のアンテナをいつも見通せるようにしてください。
- ・送信機と受信機を、金属などの高密度物質の近くに置かないでください。
- ・受信機をコンピュータや高周波を発生する機器の近くに設置しないでください。
- ・受信機に付属のアンテナを使用する場合は、受信機を機材ラックの下の方に設置しないでください。
- ・受信機の2本のアンテナをお互いに反対方向に向けて、垂直に対し45°傾けて設置してください。
- ・受信機とアンテナを離れた位置に設置する場合は、正しいケーブルを使用して下さい。SHURE UA825、UA850(50Ω同軸ケーブル)をお勧めします。できるだけ短くして使用して下さい。ケーブルが7.6m以上の場合は、SHURE UA830A(アクティブ・リモート・アンテナキット)を使用して下さい。
- ・ダイバーシティ・アンテナは、少なくとも1/4波長(約10cm)は離して設置して下さい。必要に応じてSHURE UA830A(アクティブ・リモート・アンテナキット)およびUA825、UA850(50Ω同軸ケーブル)を使用して下さい。マルチシステムの設置には、SHURE UA845(アンテナ分配機)を使用して下さい。

電池寿命

送信機ULX1、ULX2には、9Vアルカリ乾電池のみを使用することを推奨します。一般的な9V乾電池でULX Wirelessを使用したときの標準的な電池寿命は、8時間です。

※1年間以上保管された電池または過度に高温の環境で保管された電池の故障率は、高くなる可能性があります。

仕様

電波型式

F3E

受信周波数

A型 (797~806MHz) 71チャンネル、B型 (806~810MHz)
30チャンネル、合計101チャンネルのうち任意の1チャンネル
トーン信号周波数

32.768kHz

周波数特性

25~15,000Hz、±2dB

到達距離

最適条件下で100m

(実際は、RF信号の吸収や反射、妨害により左右されます。)

●受信機 (ULXS4、ULXP4)

アンテナ入力

実効インピーダンス: 50 Ω

コネクタ: BNC

感度 (12dB SINAD)

1.26μV(標準)

音声出力

形式: バランス (XLR3 ピン、オス)

アンバランス (フォーンジャック)

インピーダンス: 50 Ω (Line)、2k Ω (Mic)

レベル: バランス: +3.9dBV (Line)、-17dBV (Mic)

アンバランス: -2dBV

使用電源

AC100V、50/60Hz、14W(付属のACアダプタ使用時)

寸法・重量

ULXS4: 幅214×高43×奥行163mm、1.0kg

ULXP4: 幅214×高43×奥行172mm、1.1kg

付属品

1/4波長アンテナ×2 (ULXS4)、1/2波長アンテナ×2
(ULXP4)、1/2波長アンテナ×4 (ULXP4D)、ACアダプ
タ、ラックマウント用取付金具 (ULXP4、ULXP4D)、ス
クリュードライバ

●送信機 (ULX1)

発振方式

水晶制御 PLL シンセサイザー方式

空中線電力

10mW

アンテナ形式

1/4波長ホイップ、50 Ω

最大入力レベル

+12dBV(1kHz、THD1%)

ゲイン調整範囲

25dB (入力レベル・アッテネータ・スイッチ付 [0dB/-
20dB])

入力コネクタ

TA4M

電源

006P形アルカリ乾電池×1

寸法・重量

幅67×高97×奥行27mm (除アンテナ部)・79g (除乾電池)

付属品

006P形アルカリ乾電池×1、ソフトケース

ULX1 用オプション

ギターケーブル(WA302)

楽器用マイクロホン (WB98H/C)

ヘッドウォーンマイクロホン (WBH53、WH30TQG、
WCM16)

ラベリアマイクロホン(WL183、WL184、WL185、WL50、
WL51、WL93)

●送信機 (ULX2)

発振方式

水晶制御 PLL シンセサイザー方式

空中線電力

10mW

アンテナ形式

内蔵式ホイップ、50 Ω

ゲイン調整範囲

25dB

電源

006P形アルカリ乾電池×1

寸法・重量

ULX2/58、ULX2/BETA 58

最大径51×全長228.6mm、289g(除電池)

ULX2/87、ULX2/BETA 87A、ULX2/BETA 87C、ULX2/SM86

最大径51×全長223.5mm、258g(除電池)

付属品

006P形アルカリ乾電池×1、マイクホルダ、誤操作防止用
スイッチカバー、マイクポーチ

オプションアクセサリ

UA220 : パッシブ・アンテナ分配/混合キット

UA830A : アクティブ・リモートアンテナキット

UA870A : アクティブ指向性アンテナ

UA845 : アンテナ分配機

WA610 : ハード・キャリングケース

UA505 : リモートアンテナ・ブラケットとBNCアダプタ

UA506 : ULXS4、ULXP4用ラックマウントキット

UA507 : ULXP4D用ラックマウントキット

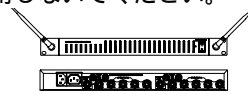
UA600 : フロントマウント・アンテナキット

注: 充電式電池を使用する場合は、完全に充電された定格9V以上
(例えば9.6V)の電池は使用しないでください。



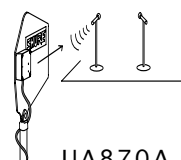
UA830A

アクティブ・リモート・
アンテナキット



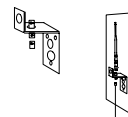
UA845

アンテナ分配機



UA870A

アクティブ指向性アンテナ



UA505

リモートアンテナブラケットと
BNC アダプタ

トラブルシューティング

通常発生する問題とその対策です。以下の方法で問題が解決できない場合は、お買上げ店またはヒビノ AVC セールスにご相談下さい。

問題	インジケータの状態		対策
	受信機 ULXS4 ULXP4	送信機 ULX1 ULX2	
音が出ない			<ul style="list-style-type: none"> ● 送信機のON/OFFスイッチをONにする。乾電池が適切に挿入されているかを確認する。 ● 乾電池の+と-の端子が送信機の端子と一致しているかどうかを確認する。 ● 新しい電池を挿入する。
			<ul style="list-style-type: none"> ● 受信機のACアダプターがコンセントやリアパネルのDC入力コネクタにしっかり差し込まれているかを確認する。 ● ACコンセントが適切な電気を供給しているかどうか確認する。
			<ul style="list-style-type: none"> ● 受信機のプラグが差し込まれており、ON/OFFスイッチがONになっていることを確認する。 ● 受信機と送信機が同じグループおよびチャンネルになっていることを確認する。 ● 受信機のアンテナを延長し、垂直の位置から互いに45°に向ける。 ● 受信機を近くの金属物質から遠ざける。 ● 障害物を除き、送信機と受信機のアンテナがいつも見通せるようにする。 ● 送信機を受信機に近づける。
音が聞こえないまたは、かすかな音がする。			<ul style="list-style-type: none"> ● 送信機のAudio Peakアイコンが高音のピーク時で点滅するまで、送信機ゲインを増加する。 ● 受信機出力レベルコントロールつまみを上げる。 ● 受信機とアンプまたはミキサーのケーブル接続を点検する。
受信機の音声レベルがケーブル接続のギターまたはマイクロホンの音声レベルと異なる。			<ul style="list-style-type: none"> ● 必要に応じて送信機ゲインを調整する。 ● 必要に応じて受信機の音量を調整する。
ギターを替えると、音声レベルが異なる。			<ul style="list-style-type: none"> ● 送信機ゲインを調整し、ギターの出力レベルの違いを補正する。
歪みが徐々に増大する。			<ul style="list-style-type: none"> ● 送信機の乾電池を交換する。
ノイズバーストまたは歪みや他の無線信号により演奏が妨害される。			<ul style="list-style-type: none"> ● 送信機がOFFの状態ではノイズが発生する場合は、他のワイヤレスシステムや無線機などの近くのRF源を確認して取り除く。
送信機を演奏場所の周りで動かすと、瞬間的に音が聞こえなくなる。(ドロップアウト)			<ul style="list-style-type: none"> ● 受信機の位置を変え、ウォークスルーテストを行う。音声のドロップアウトが続く場合は、デッドスポットをマークし、演奏中はその場所を避ける。

SHURE グループ/チャンネル一覧表 (単位 MHz)

A 型 (797.125 ~ 801.500MHz)

周波数 (MHz)	グループ番号							
	1	2	3	4	5	6	7	8
797.125	A11						A71	
797.250		A21						
797.375	A12						A72	
797.500		A22						
797.625			A31					
797.750				A41				
797.875			A32				A73	
798.000		A23						
798.125	A13							
798.250						A61		
798.375			A33					
798.500				A42			A74	
798.625					A51			
798.750	A14							
798.875		A24						
799.000				A43				
799.125					A52			
799.250			A34					
799.375					A53			
799.500		A25					A75	
799.625			A35					
799.750					A54			
799.875		A26						
800.000	A15							
800.125				A44				
800.250			A36					
800.375				A45			A76	
800.500	A16							
800.625					A55			
800.750				A46			A77	
800.875								A81
801.000								A82
801.125								A83
801.250								A84
801.375								A85
801.500								A86

A 型 (801.625 ~ 805.875MHz)

周波数 (MHz)	グループ番号								
	9	A	B	C	D	E	F	0	
801.625	A91							AF1	
801.750		AA1							
801.875	A92								AF2
802.000		AA2							
802.125			AB1						
802.250				AC1					
802.375			AB2						AF3
802.500		AA3							
802.625	A93								
802.750						AE1			
802.875			AB3						
803.000				AC2					AF4
803.125					AD1				
803.250	A94								
803.375		AA4							
803.500				AC3					
803.625					AD2				
803.750			AB4						
803.875					AD3				
804.000		AA5							AF5
804.125			AB5						
804.250					AD4				
804.375		AA6							
804.500	A95								
804.625				AC4					
804.750			AB6						
804.875				AC5					AF6
805.000	A96								
805.125					AD5				
805.250				AC6					AF7
805.375									A01
805.500									A02
805.625									A03
805.750									A04
805.875									A05
806.000	-	-	-	-	-	-	-	-	-

B 型 (806.125 ~ 809.750MHz)

周波数 (MHz)	グループ番号					
	1	2	3	4	5	6
806.125	B11					
806.250		B21				
806.375	B12					
806.500		B22				
806.625			B31			
806.750				B41		
806.875			B32			
807.000		B23				
807.125	B13					
807.250						B61
807.375			B33			
807.500				B42		
807.625					B51	
807.750	B14					
807.875		B24				
808.000				B43		
808.125					B52	
808.250			B34			
808.375					B53	
808.500		B25				
808.625			B35			
808.750					B54	
808.875		B26				
809.000	B15					
809.125				B44		
809.250			B36			
809.375				B45		
809.500	B16					
809.625					B55	
809.750				B46		

- * 枠内の英数字は、左から型/グループ/チャンネルを表しています。
- * グループ7及びグループFは、次の条件により7波の組み合わせも可能です。
◎送信機間を50cm以上離す。 ◎受信機又はアンテナと送信機を5m以上離す。
- * グループ8及びグループ0は、1~7、9~Fグループの使用法とは異なります。
基本の組み合わせ以外の組み合わせにより、多チャンネル同時運用を可能にするための補助周波数です。
したがってグループ8及びグループ0のチャンネルは同時使用できるものではありません。

SHURE チャンネルプラン例

A型B型(797.125~806.000/806.125~809.750MHz)

	A 型						B 型	
	7波		10波				7波	
A 型	A11	A22	A21	A21	A14	A11	B11	B21
	A12	A32	A23	A14	A22	A32	B12	B31
	A24	A45	A42	A35	A44	A24	B32	B13
	A26		A25	A15	A54	A44	B42	B14
			A26		A61	A16	B25	B25
							B45	B16
							B46	B46
		AA1	AB1	AA2	A91	AC1	AB3	
		AB5	A95	AD2	AC1	AD3	AA5	
		AC6	A02	AB6	AA4	AA6	AC5	
			A04	A01	AB6	A03	AB6	
				A03	AC6	A05	A01	
				A02				

A型B型(797.125~806.000/806.125~809.750MHz)

	A 型 + B 型										
	11波					12波					
A 型	A11	A21	A43	A31	A12	A11	A12	A21	A11		
	A32	A22	A44	A23	A41	A12	A31	A22	A22		
	A61	A14	A86	A43	A24	A41	A24	A32	A52		
	A54	A25		A36		A14	A34	A35	A44		
						A26	A36	A82			
						A85	A82				
		A92	AC1	AC3	AA2	A91	AD2	AC2	AC1	AA2	
		AB3	AE1	AD4	AC3	AB5	AA6	AC6	AD3	AD4	
		AD4	AD5	A05			AC5		A96	AB6	
									A05	A02	
B 型	B16	B51	B12	B23	B11	B41	B11	B32	B43		
	B21	B54	B15	B61	B12	B54	B25	B44	B35		
	B41	B45	B45	B14	B13	B55	B44	B53	B16		
	B46	B46	B52	B26	B14		B55		B43		
			B55	B46	B15						
					B16						

A型ワイヤレスマイク(特定ラジオマイク)の使用について

- A型ワイヤレスマイクは電波法で定められた「特定ラジオマイクの陸上移動局」で、運用の際には無線局の免許申請が必要です。
- A型ワイヤレスマイクは放送局が映像を取材中継する機器(FPU)と周波数を共用しています。また、A型ワイヤレスマイクを近距離で同時に使用する場合、電波の相互干渉のため、使えるチャンネル数には限りがあります。運用にあたっては互いの連絡・調整等により、電波障害を起こさないようにすることが義務付けられており、この運用連絡・調整の中心になるのが特定ラジオマイク利用者連盟です。A型ワイヤレスマイクを運用する場合(FPUを持つテレビ局は除く)は必ず連盟に加入し、運用前には「運用連絡」を提出してください。

『特定ラジオマイク利用者連盟』連絡先

〒162-0042

東京都新宿区早稲田町75 佐藤ビル2F

TEL :03-5273-9806 FAX:03-5273-9808

URL :http://www.tokurare.org/

SHURE®

It's Your Sound®

製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
この取扱説明書は、2003年1月現在のものです。ここに記載されている商品名、会社名等は、各社の登録商標または商標です。

HIBINO

音と映像のプレゼンター
ヒビノ株式会社

hibino AVC sales ○ E-mail: avcsales@hibino.co.jp ○ Home Page: <http://www.hibino.co.jp/>

東京ブランチ (販売) 〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-9
Tel.03-5606-3101 Fax.03-5606-3102

大阪ブランチ 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8
Tel.06-6339-3890 Fax.06-6339-3891

北海道オフィス 〒060-0007 北海道札幌市中央区北七条西20-1-8
Tel.011-640-6770 Fax.011-640-6776

福岡ブランチ 〒812-0042 福岡県福岡市博多区豊1-5-24
Tel.092-475-2555 Fax.092-482-4535